認定NPO法人 子どもの心理療法支援会

サポチル訓練コース募集要項

―2027 年度版―

※2027年度は「観察と臨床基礎コース」のみ募集いたします

1. はじめに

サポチル訓練コースは、認定NPO法人子どもの心理療法支援会（サポチル）が開設した精神分析的心理療法のための研修プログラムです。開設以来大切にしてきた「自主性・自発性」という理念を基盤としながら、確かな専門性を実感していただけるよう、体系的な訓練カリキュラムを整えています。

こども家庭庁の発足をはじめ、子どもや家庭を取り巻く社会情勢や支援ニーズは急速に複雑化・多様化しています。また、公認心理師制度の定着に伴い、多職種連携や様々な臨床現場において「心理療法家としての専門的アイデンティティをいかに確立し、実践に活かすか」が改めて問われています。

サポチル訓練コースでは、単に精神分析的心理療法の理論や技法を学ぶだけでなく、各々が置かれた臨床現場に即して柔軟に思考し、実践できる自立した専門家の育成を目指します。丁寧なサポート体制のもと、集中的な訓練を通じて、確かな知識と技量の定着、そして専門家としての深い自負を育んでいただけます。

現在は、医療・教育・福祉など多岐にわたる現場から集まった受講生が、それぞれの関心やキャリア段階に合わせて「観察と臨床基礎コース」や「セラピスト養成コース」で研鑽を積んでいます。

変化の激しい時代において、子どもたちの心に寄り添う確かな軸を身につけたいとお考えの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

セミナーは、すべてオンラインでの受講にも対応しており、遠方からでもご参加いただけます。

2. コースの特色

1. より凝集性の強い研修内容
（定められた期間で知識や経験の確実な定着を目指す）

2. コース委員・セミナーリーダーによる手厚いサポート
（来るもの拒まず、去る者追わずではなく、責任をもってサポートする）

3. ピアグループを通じた相互サポートの強化
（同期とも同僚とも違う、同志による支え合いの場の提供）

4. ゼミ形式の基礎セミナー
（講師のペースではなく、受講生の理解度に合わせて必要な内容を学ぶ）

5. 年に 3 回の個別チュートリアル
（担当チューターと臨床・訓練上の悩みを相談する機会がある）

6. セラピスト養成コースでは訓練生に臨床実践の機会の提供
（定期的な心理療法の現場がない方でも安心）

3. コースの紹介

【A: 観察と臨床基礎コース　コース責任者:橋本貴裕】

本コースの中心となるのは、「観察すること」です。
乳児観察では、一人の赤ちゃんとその家族のもとに2年間通い、赤ちゃんの成長や家族との関わりを、できるだけ先入観を持たず、ありのままに見つめていきます。一方、ワークディスカッションでは、対人援助の現場で人と関わりながら、相手だけでなく、自分自身の心に生じる感情や反応にも目を向けます。このように、異なる形で観察を重ねることを通して、目の前で起きていることを丁寧に捉え、人のこころを理解する力を養っていきます。
基礎セミナーは2時間で構成され、前半の1時間では集団や乳幼児の発達などに関する精神分析的な文献を学び、後半の1時間ではワークディスカッションを行います。少人数での学びを通して、観察したことを振り返り、考えを深めていきます。
本コースは、セラピスト養成コースへの進級を希望する方のための基礎訓練であると同時に、スクールカウンセリング、医療、福祉など、それぞれの現場で精神分析的な理解を生かしたい方にも開かれています。
最短で2年で修了可能です。

	セミナー	乳児観察
1 年目	基礎セミナーⅠ　（月2回） 文献講読Ⅰ　（月1回） 文献講読Ⅲ　（月1回）	週1回の乳児観察セミナーを受講し、自身が2年間の乳児観察を行う。
2 年目	基礎セミナーⅡ　（月2回） 文献講読Ⅰ　（月1回） 文献講読Ⅲ　（月1回）	
3年目以降	基礎セミナーⅢ（希望者・月1回） 文献講読Ⅰ・Ⅲ（希望者） **※ご自身でお申込み・お支払い**	

※3年目以降の文献講読Ⅰ・Ⅲは、コースの受講料に含まれません。受講を希望する場合は、各セミナーにご自身でお申し込みのうえ、受講料をお支払いください。

申請資格

1. 認定NPO法人子どもの心理療法支援会の正会員（専門会員もしくはボランティア会員）であること
   ※2027年1月16日（土）に行われる理事会までに承認された会員
2. 乳児観察や精神分析の基礎を自分の今後の臨床に生かしたいという熱意があること
   ※乳児観察セミナー修了生も「観察と臨床基礎コース」のエントリーが可能です。

必要書類の記入要項

① 観察コース生申請書【様式 1】

職歴欄が足らない場合は、主なものをご記入ください。現在の職場の所属長もしくは
スーパーバイザーなど **2 名に推薦人として署名をもらってください**。

② 訓練経過報告書【様式 2】

これまでご自身が受けてきた研修についてご記入ください。スーパービジョン体験の「主なケースの特徴」の欄は、ケースの年齢・性別・構造・病態などを簡単にご記入ください。「文献講読やセミナー」の欄は、当法人の研修プログラムである場合は主催者の欄にご記入いただく必要はありません。

③ 志望動機【様式 3】

なぜコースに入ろうと思ったのか、コースを修了した後、得られたものをどのように活かしていきたいと考えているかなどを自由にお書きください。

修了要件

① 2 年間の乳児観察修了とエッセイ（修了レポートとなる）

② 文献講読Ⅰ・文献講読Ⅲのエッセイを提出し修了証を得ること（それぞれ 2 年以上）

③ 職場での観察とワークディスカッションによるエッセイ

コース料金

コース受講料（1・2年目）年間 15 万円（2027年度にコースを開始する方より改定） **3 年目以降は年間 5 万円（文献講読Ⅰ・Ⅲの受講料は含みません）**
コース内容（1・2年目）： 文献講読Ⅰ（会員価格 5 万円）＋文献講読Ⅲ（会員価格 5 万円） ＋基礎セミナー（月 2 回、10 万円相当）＋チュートリアル 3 回分（2 万円相当）
※ **乳児観察セミナー料金は、別途かかります（月 2 万円程度）**。

コース内容(予定)

関連するプログラム				講師	会場	定員	日時(予定)
基幹セミナー	乳児観察セミナー			平井正三	御池 オンライン可	5 名	毎週月曜日 19:30～21:00
				鵜飼奈津子	梅田 オンライン可	5 名	毎週土曜日 10:30～12:00
				脇谷順子	東京 オンライン可	5 名	毎週木曜日 19:30～21:00
	文献講読	文献講読Ⅰ	現代クライン	平井正三	御池 オンライン可	15名	第1土曜日 18:00～20:30
			フロイト	平井正三	御池 オンライン可	15名	第4土曜日 18:40～21:10
		文献講読Ⅲ	「こころの発達心理学」	(前半) 久保信代 (後半) 狗巻修司	(前半) オンライン (後半) オンライン	12 名	第2土曜日 16:30～18:30
				榊原久直	オンライン	12 名	第3土曜日 19:00～21:00
訓練コース	観察と臨床基礎コース	基礎セミナーⅠ(1年目)		森和子	オンライン	-	第2･4金曜日 19:00～21:00
		基礎セミナーⅡ(2年目)		吉岡彩子	御池 オンライン可	-	第2･4土曜日 18:45～20:45
		基礎セミナーⅢ(3年目以降)		橋本貴裕	オンライン	-	第2水曜日 19:30～21:30

よくある質問

Q1. 観察する赤ちゃん家庭が見つかってからでないとコースエントリーできないのか？

A1. ご参加いただけます。逆に、乳児観察セミナーを受講される前に赤ちゃん家庭を見つけることはお控えください。臨床上でもアセスメントのプロセスが大事なように、赤ちゃんを見つけ、交渉し、乳児観察をするのに適した家庭であることを判断していくプロセスをセミナーの助けを借りて行う必要があります。

Q2. オンラインで受講できるのか？

A2.オンライン受講可能です。オンラインご希望の方は、志望動機の欄にその旨をご記載の上、ご提出ください。

【B：セラピスト養成コース　コース責任者：平井正三】

「観察と臨床基礎コース」を修了した人で、「子どもの精神分析的心理療法士」として独り立ちできる力を培うためのコースです。なお、「観察と臨床基礎コース」を修了されていなくても、乳児観察修了者で所定の要件を満たした人は、本コースから開始可能です。

本コース生は、訓練生としてサポチルの心理療法提携機関に所属し、アセスメントを含めた子どもの精神分析的心理療法実践の機会を得ることができます（外部ケースも条件次第で訓練ケースにできます）。また、所属機関のアセスメントミーティング（月1～2回）に参加し、アセスメントの実際も学ぶコースです。

最短で3年で修了可能です（当面は、修了要件さえ満たせば短くすることも可）。

※現在、遠方の方もエントリーできるように、提携機関に属さなくてもよい形にすることを検討中です。

※2027年度は、セラピスト養成コースの募集は行いません。

次回の募集時期については、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。

4. 申請書類提出先, 問い合わせ先

2026年12月31日(木) 申請書類締め切り(PDFにてメール提出)

training@sacp.jp : 認定 NPO 法人子どもの心理療法支援会 訓練コース事務局

〒604-8187 京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町 444 初音館 302

Tel&Fax:075-600-3238

HP:http://sacp.jp/

提出書類については、記載漏れのないように、黒ボールペンやパソコン等によりはっきりと書いて下さい。また、**自筆による署名と捺印が必要な箇所**がありますのでご注意ください。記入した申込書をスキャンもしくは写真で撮影し、ファイルを添付したメールでご応募ください。持参、郵送でも受付可能です。その際は提出時にその旨をメールしてください。

申請書が問題なく受理されたら、**コース委員による面接**と環境調整の相談が開始します。**2027年2月下旬頃までに受理会議にて可否の決定**、**2027年4月から観察コース生としての生活が始まります**。

本コースは、参加者のグループによるメンバーシップを重視しているため、各コースの参加者は多くても 6 名までとし、**3名に満たなかった場合は開講を見合わせます**。ご了承のほど、よろしくお願いいたします。